

一般財団法人 FA財団

2019年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

1. 論文賞表彰事業

1. 平成31年（2019年）2月に行った7学会への推薦依頼に応じて、6月末日の締切までに論文賞候補18件が送られてきた。そこで、7月～8月に各審査委員に書面審査をお願いし、9月26日（木）に審査委員会を開催して授賞候補論文を選定してもらい、10月10日（木）の第19回理事会（書面審査）で授賞論文8件を最終決定した。12月13日（金）に霞山会館で開催した表彰式では、受賞者をはじめ、7学会関係者、来賓、役員・評議員・審査委員等、約70名の参加を得て、論文の著者に表彰状と副賞（1件100万円）を贈呈し、引き続いて祝賀会兼技術交流会を行った。
2. 審査委員会では、令和2年度以降の論文賞表彰事業全般についても意見交換を行い、論文賞の募集・審査・表彰のスケジュール、推薦依頼学会は今年度と同様で良いことになった。なお、外国人が外国で行った研究は審査対象から外すということは何らかの形で周知することになった。
3. 令和2年2月に、令和2年度の論文賞候補の推薦を7学会に依頼した。

2. 運営・管理体制

1. 6月26日に平成30年度の決算に基づいて、公益目的支出計画実施報告書等を内閣府に提出した。
2. 平成元年3月の本財団創立から平成26年4月の一般財団法人移行までの経緯と活動状況を纏めて発行した冊子「FA財団25年の歩み」の内容を補充するとともに、その後の5年間の歩みを追加した「30年の歩み」を纏める作業を完成させた。
3. ファナック株式会社からの資金援助については、11月22日に2,000万円の振り込みがあったので、管理費として運用することを前提として収入の部に計上した。

以上

事業報告の内容を補足する重要な事項が無いため、事業報告の附属明細書は作成していない。